

学校教育目標

児童生徒が自己のもつ能力や可能性を最大限伸ばし、自立と社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行い「生きる力」の育成を目指す。



〔目指す教師像〕

- 自ら学び続ける教師
- 子どもの学びに伴走できる教師
- 仲間と連携・協働できる教師

『目指す学校像』

- ◆朗らかで楽しい学校
- ◆穏やかで安心できる学校
- ◆和やかで信頼される学校

〔目指す児童生徒像〕

- すすんであいさつをする子
- 友達と協力して活動する子
- 自分の力を信じ挑戦する子

令和5年度 学校テーマ 「明日が楽しみになる学校」



令和5年度 重点目標

子どもの「探究心」を育む授業づくり

- 育成を目指す資質能力（三つの柱）を踏まえた個別の指導計画の作成
- 展開において児童生徒が思考する活動の設定と学習の「まとめ」「振り返り」を大切にする授業
- これまでの実践とICTを組み合わせた効果的な授業
- 授業改善を進めるための校内体制の整備と研修会の実施

自立と社会参加に向けた教育活動の充実

- 「キャリアパスポート」の活用と系統的なキャリア教育の推進
- 社会自立を目指し地域や保護者と連携した教育課程の編成と改善
- 地域資源や地域の施設等を活用した職業体験学習、人や社会とつながる学習の実践と充実
- 一人一人の「働く」意欲を高める作業学習の実践

地域連携とセンター的機能の充実

- 内原特別支援学校との連携、学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いを大切にした交流及び共同学習の推進
- 電話相談及び来校相談、巡回相談の充実
- 保護者及び地域の関係機関との連携の強化
- 本校教育活動の積極的な発信

健康で安全・安心な学校づくり

- 安心して学習や生活ができる教育環境の整備
- ヒヤリハット事例の蓄積と共有、危機管理体制の充実のための各種マニュアルの見直しと改善
- いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実
- 専門家や保護者と連携した食育・健康教育の推進

教職員の姿勢

- 互いを認め合うこと
- 感謝の気持ち
- あいさつ
- 服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成
- 報告・連絡・相談

働き方改革

- 業務内容の改善（学校行事・校務内容の見直し、会議の効率化の推進等）
- 時間の使い方への意識改革、勤務時間の適正管理